

JR東海労ニュース

No. 826
2006年 7月11日
JR東海労働組合

ウソで固めた九州ユニオン指導部弾劾！

小椿 谷川の自己保身を許すな！

小椿・谷川の再三の引き回しを許さず 組合員はJR総連の旗に結集しよう！

小椿、谷川の裏切り・組織破壊行為弾劾！
JR九州ユニオン組合員はJR総連の旗に結集しよう！

7月7日、JR九州ユニオンは第8回定期大会を開催し、あろうことか「JR総連との関係を解消する」との「動議」を賛成32、反対0の全会一致で可決した。わがJR東海労は、この事実上の「JR総連脱退宣言」を許すことはできない。そして、これを指導した小椿委員長、谷川書記長を強く弾劾する。

小椿委員長は大会の挨拶で「JR総連と九州ユニオンの信頼関係は切れた」と訴え、大会の冒頭から「JR総連脱退」に向けてシナリオを描き出し、代議員に「動議」を出させて脱退劇を演じた。

小椿よ！谷川よ！よくもウソで塗り固めたシナリオで、再び三度かの「10.5」へ突入したものだ。2000年の「10.5」でいったい何人の組合員を路頭に迷わせたのか自覚しているのか！どこまで組合員を騙し、バカにし、路頭に迷わせれば気がすむのか。

小椿よ！谷川よ！「新妻との密会」を理由に縫の制裁を決めた自分自身が、実はその直後に新妻と酒を酌み交わしていたことをどう釈明するというのか。「組織破壊本」と規定した「谷川本」の著者、福原福太郎との交流が暴露された中で、どうやって組合員を騙し続けたのか明らかにせよ！6月4～5日のJR総連第22回大会への出席と、「発10号」との矛盾も説明できずに弱々しく「撤回については持ち帰り検討」と言った発言の「だらしなさ」をいったい誰に問われ、詰められたのか明らかにせよ。

小椿よ！谷川よ！裏切り者は裏切り者らしく静かに去れ！組織破壊者は組織破壊者らしく権力や会社のいうがままに養殖への道を積極的に進め。

わがJR東海労は、JR九州ユニオンの組合員にJR総連の旗に結集することを訴え、呼びかける。今、JR総連から脱退するということはJR浦和電区事件やデッチ上げの12.7横領事件など、国家権力からの大弾圧に闘うことなく、弾圧する側の立場に立つことを意味するのだ。美世志会7名の早期職場復帰と完全無罪を求めて闘う立場を放棄するというのだ。それでよいのか。権力の側に立つてよいのか。

わがJR東海労は今年結成15周年を迎えた。葛西や井手ら一部経営陣によって「私物化され、裏切られた国鉄改革」に抗して新しい労働組合を結成して15年である。同じくJR西労、JR九州ユニオンも「箱根以西3単組」として闘ってきた15年である。

JR九州ユニオンは多くの労働者の・良心的・真面目な組合員によって再建されるべきである。闘ってきた15年間の苦労を水泡に帰さないためにも、JR九州ユニオン指導部の裏切り、組織破壊行為と決別しJR総連の旗に結集することを訴える。

わがJR東海労は、JR九州ユニオン再建の闘いに全組織をあげることを宣言する。

2006年7月8日

JR東海労働組合（JR東海労）
中央執行委員会

核心は10.5じゃない！出発点は縫問題だ！
問題をスリ変えた小椿委員長を許すな